

南九州市男女共同参画審議会

日 時 令和7年10月21日（火）

13：30～

場 所 知覧庁舎本館2階 委員会室

．．．．． 会 次 第 ．．．．．

1 開 会

2 男女共同参画を取り巻く状況

3 令和6年度南九州市男女共同参画経過報告及び審議会の役割説明

4 協 議

(1) 南九州市男女共同参画基本計画二次評価について（令和6年度分）

5 その他

(1) 【企画課より】オンラインお仕事講座の実施について

(2) パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入について

6 閉 会

南九州市男女共同参画審議会 名簿

任期: 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

	第9期 (任期R6.4.1～R8.3.31)		氏名
1	有識者	教育委員	峰元 麻美子
2		児童委員・民生委員	内田 智賀子
3		農業委員会	高江 京子
4		人権擁護委員	網屋 多加幸
5		県男女共同参画地域推進員	大隣 初美
6	団体の代表者	市女性団体連絡協議会	安山 久美子
7		商工会	今村 大地
8		国際交流協会	岩崎 泰依
9		校区(地区)公民館	中村 秀実
10		事業所(介護福祉施設)	田之上 弘輔
11	住民	公 募	瀬川 知香

アドバイザー

所属	役職	氏名
オフィスピュア	男女共同参画政策アドバイザー	たもつ ゆかり

事務局

所属	役職	氏名
まちづくり推進課	課長	福留 清幸
まちづくり推進課 共生協働推進係	係長	諏訪下 夏海
まちづくり推進課 共生協働推進係	主任主事	徳 未佳子
まちづくり推進課 共生協働推進係	主事	田原 紳太郎

目 次

2	男女共同参画を取り巻く状況	P. 1
3	令和6年度南九州市男女共同参画経過報告及び審議会の役割説明	P. 9
	【参考1】南九州市男女共同参画基本計画体系	P.11
	【参考2】評価概要	P.12
4	協議	
(1)	南九州市男女共同参画基本計画二次評価について（令和6年度分）	
	・令和5年度，令和6年度の評価点数比較（重点取り組みごと）	P.13
	・令和5年度，令和6年度の評価点数比較（各視点）	P.14
	・指標の設定	P.16
	・二次評価結果	P.17
5	その他	
(1)	【企画課より】オンラインお仕事講座の実施について	P.45
(2)	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入について	P.50
	【参考】関係例規	P.56

2 現状及び経過報告について

(1) 男女共同参画を取り巻く状況

ア、地方創生2.0基本構想（令和7年6月13日閣議決定）



内閣官房・内閣府総合サイト

地方創生2.0

3. 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
- ・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化を図る。

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

- ・多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。
- ・構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。

(3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- ・過度な東京一極集中の課題（地方は過疎、東京は過密）に対応した人や企業の地方分散を図る。
- ・政府関係機関の地方移転に取り組むとともに、関係人口を活かして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出する。

(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

- ・GX・DXを活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携などによる新時代のインフラ整備を面的に展開していく。
- ・AI・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会を実現する。

(5) 広域リージョン連携

- ・都道府県域や市町村域を超えて、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながる施策を面的に展開する。

→ 地域に関わる政策の基本的な姿勢・視点として重視

○若者や女性にも選ばれる地域

1. 安定的な雇用創出や子育て支援等を推進したが、流出が継続

2. 0

地域社会のアンコンシャス・バイアス等の意識変革や魅力ある職場づくりにより、若者や女性が地方に残りたい、東京圏から地方に戻りたい／行きたいと思える地域をつくる。

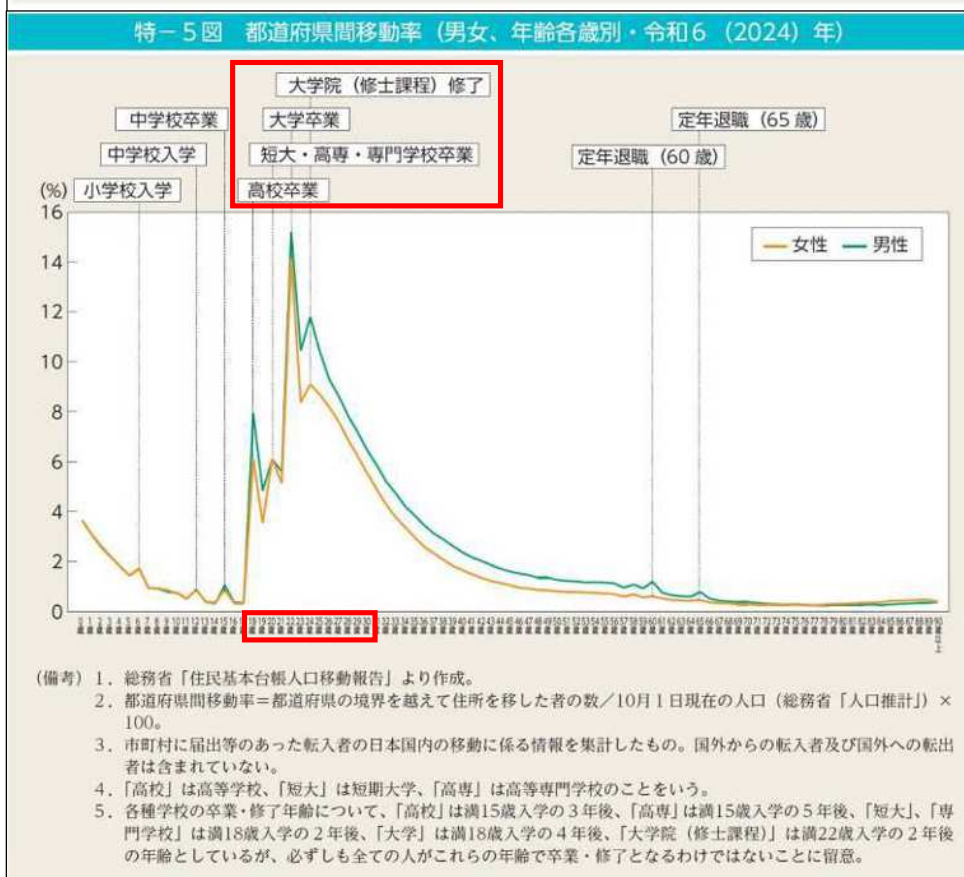
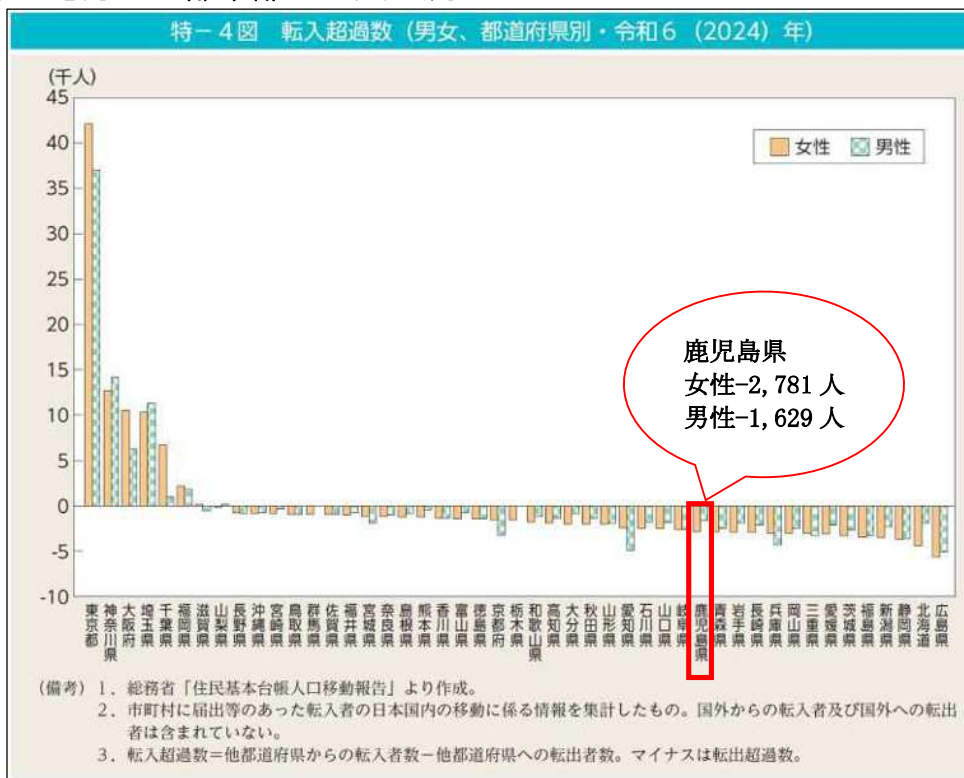
イ、令和7年度男女共同参画白書（内閣府発行）

R7特集テーマ：男女共同参画の視点から見た魅力ある地域づくり

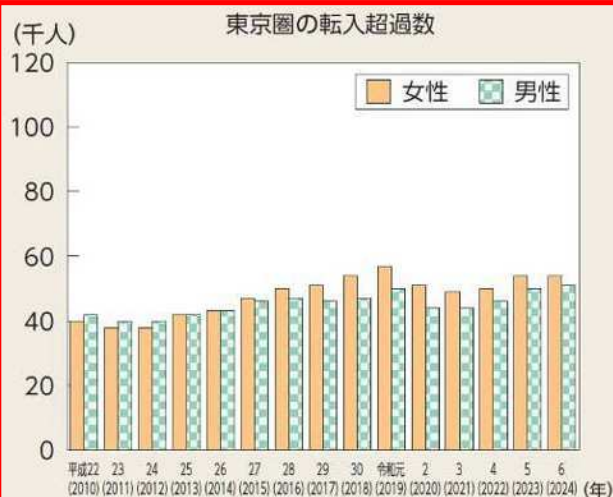


内閣府 HP（R7 男女共同参画白書）

① 地方から都市部への人の流れ



特－７図 日本人移動者の東京圏の転入者数の推移（男女別・15～24歳）



転入者数／転出者数の比率(令和6（2024）年）

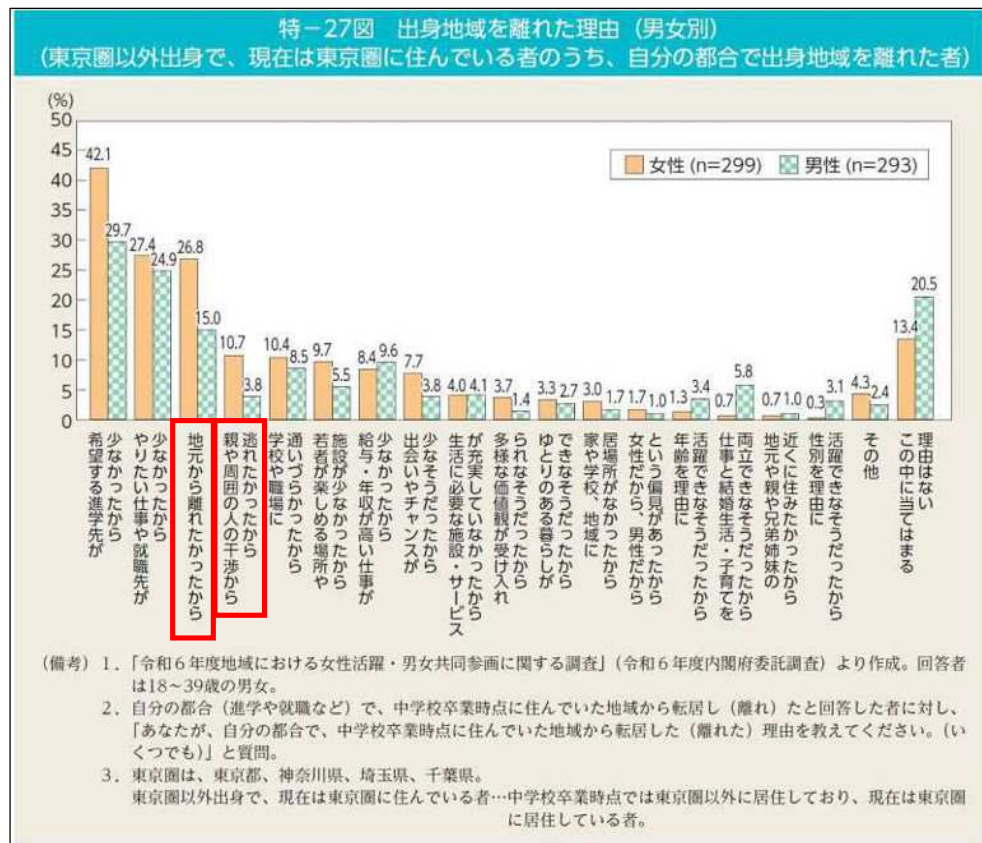
	女性	男性
東京圏	2.9	2.2

- (備考) 1. 総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成。日本人移動者の値。
 2. 市町村に届出等のあった転入者の日本国内の移動に係る情報を集計したもの。国外からの転入者及び国外への転出者は含まれていない。
 3. 転入超過数＝転入者数－転出者数。
 4. 東京圏は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県。

東京圏のみ男女ともに転入超過が続いている。

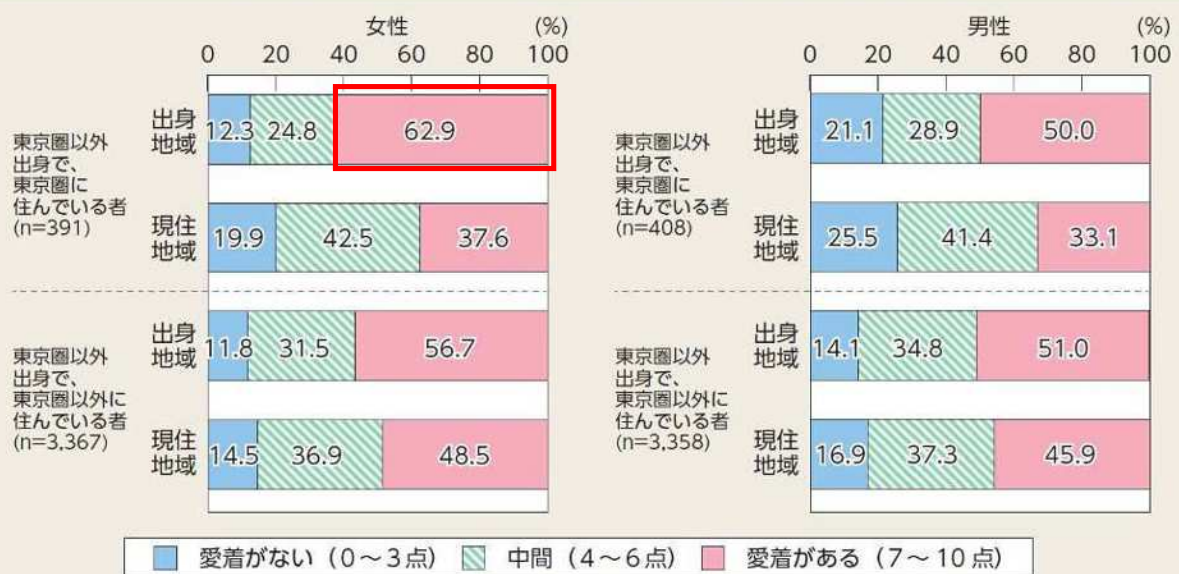
女性は男性に比べて東京圏に留まる傾向がある。

② 若い世代の視点から見た地域への意識



東京圏以外から東京圏に転出した女性は、出身地域において固定的な性別役割分担意識等があったと感じている割合が特に高く、地方から都市への転出につながり、また地元に戻ることに心理的障壁となっている可能性がある。

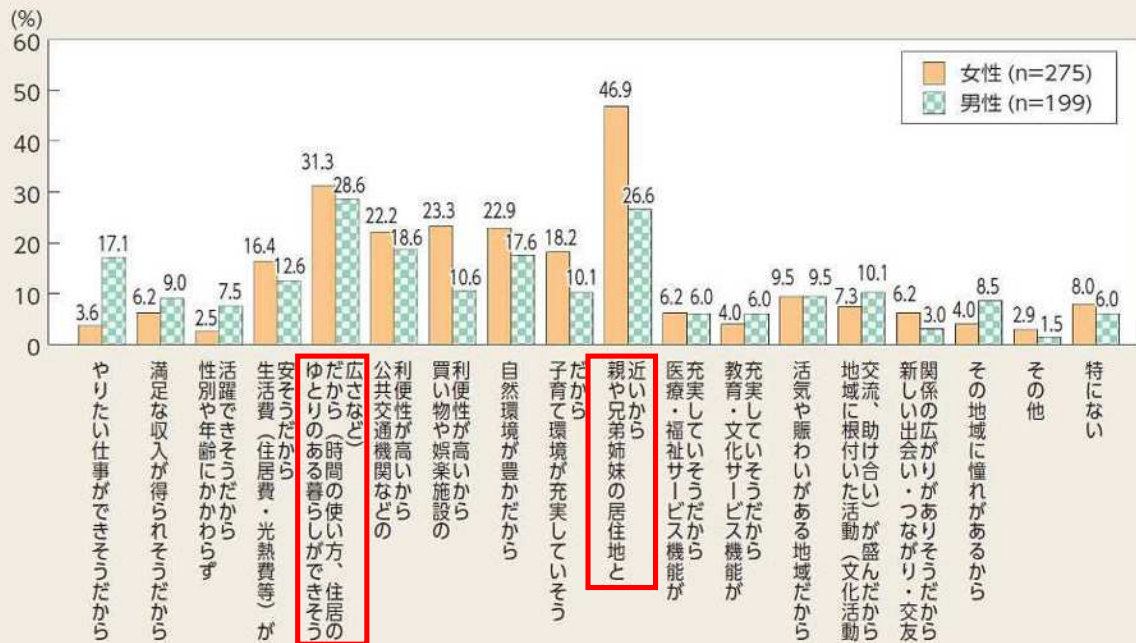
特-44図 出身地域及び現住地域への愛着（男女、現住地域別）（東京圏以外出身者）



- （備考） 1. 「令和6年度地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」（令和6年度内閣府委託調査）より作成。回答者は18～39歳の男女。
2. 「あなたは、下記の地域に、どれくらい愛着がありますか。『全く愛着がない』を0点、『とても愛着がある』を10点とした場合に、何点くらいになると思うか教えてください。（それぞれ1つずつ）①現在お住まいの地域、②中学校卒業時点で住んでいた地域」と質問。
3. 東京圏は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県。
 東京圏以外出身で、東京圏に住んでいる者…中学校卒業時点では東京圏以外に居住しており、現在は東京圏に居住している者。
 東京圏以外出身で、東京圏以外に住んでいる者…中学校卒業時点も、現在も東京圏以外に居住している者。

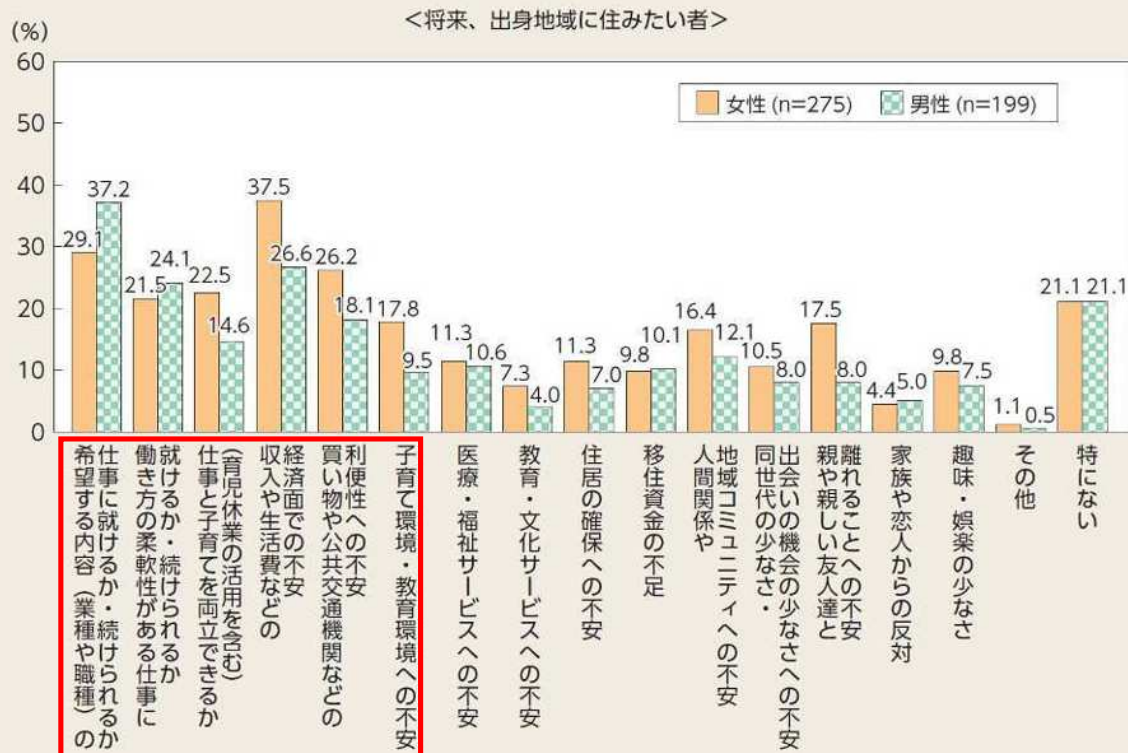
出身地域への愛着は女性の方が高く、出身地域に戻りたいと考えている女性も一定数存在する。

特-48図 将来、出身地域に住みたい理由（男女別）



（備考） 1. 「令和6年度地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」（令和6年度内閣府委託調査）より作成。回答者は18～39歳の男女。
 2. 将来、「中学校卒業時点で住んでいた地域」に住みたいと回答した者に対し、「住みたい理由を教えてください。（いくつでも）」と質問。

特-50図 現住地域以外に住むに当たって不安に思うこと（男女別）



③ 魅力ある地域づくりに向けて

特－51図 地域における男女共同参画の推進に向けて

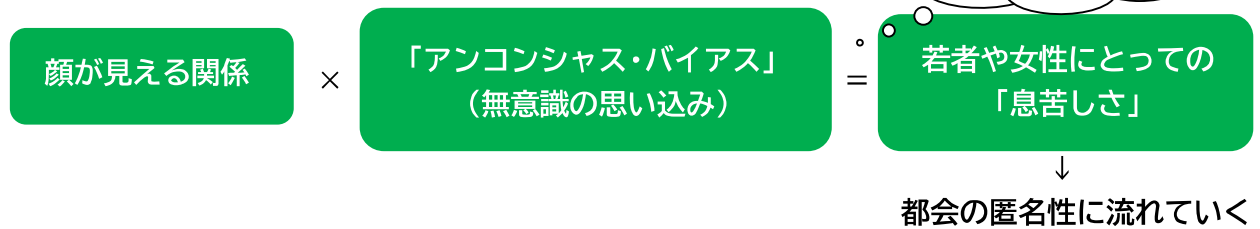
- ・地域の男女共同参画が進み、地域の活力が高まることが、日本全体の活力向上、ウェルビーイングの向上につながる
- ・性別に関係なく個性と能力を発揮できる環境整備や魅力的な地域づくりの取組の推進が重要。

固定的な性別役割 分担意識等を解消する	全ての人にとって 働きやすい環境をつくる	地域における 女性リーダーを増やす	地域で学ぶ
<ul style="list-style-type: none"> ✓職場・学校・地域等あらゆる場における性別による役割分担の見直し ✓固定的な性別役割分担意識による女性への家事・育児・介護の負担の偏りの解消 ✓一人一人の意識改革や行動変容 ✓男女に中立でない制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓性別に関係なく、やりがいのある仕事の創出 ✓共働き・子育てを可能にする性別を問わない両立支援 ✓デジタル人材育成・リスキリングや就労支援、地域で働く選択肢の増加 ✓女性の起業を支援し、女性が活躍しやすい社会環境の後押し ✓女性の所得向上・経済的自立・男女間賃金格差の是正 ✓地域限定正社員などの多様な働き方の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓あらゆる分野における施策・方針決定過程への女性の参画拡大 ✓女性管理職育成・登用、キャリア形成支援 ✓女性起業家支援を通じた、地域で活躍するロールモデルづくり、女性起業家の増加による地域の活性化 ✓女性の意見を取り入れた地域活動、地域づくり ✓女性の視点からの防災・復興の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の特色を活かした大学づくり ✓教育や研究を通じ、地域社会の発展に貢献 ✓地域産業につながる人材育成・キャリア教育 ✓進学先選択の際の無意識の思い込みの解消

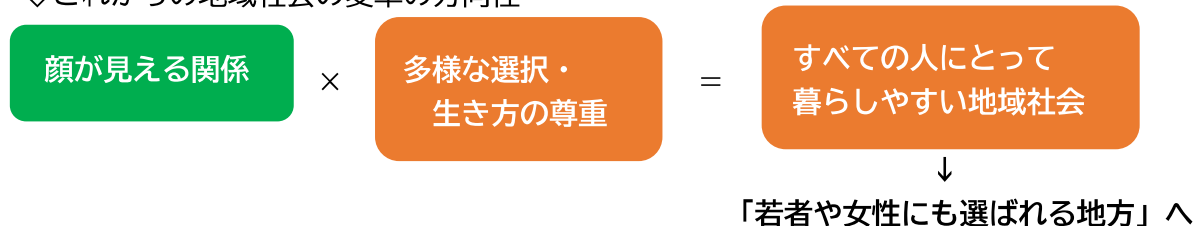
日本のあらゆる地域で全ての人が希望に応じて活躍できる社会

「若者や女性に選ばれる地方」に向けた地域社会の目指す姿（地方創生2.0より）

◆これまでの地域社会のとある光景



◇これからの地域社会の変革の方向性



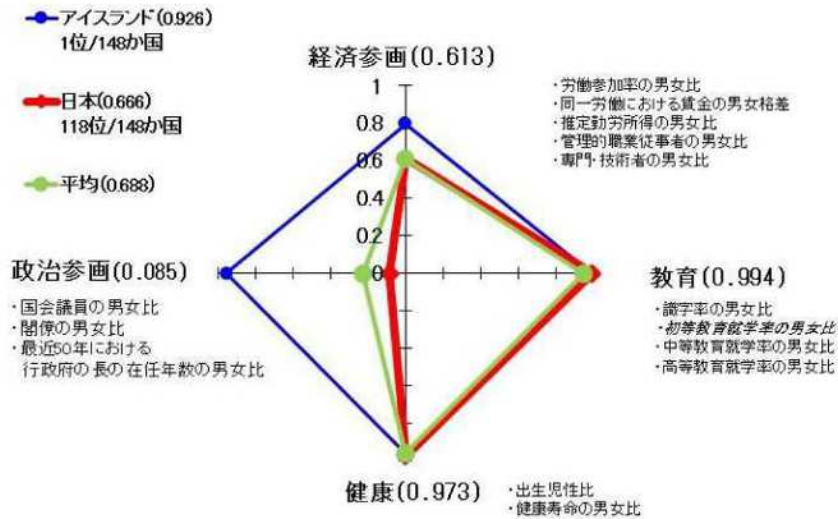
引用：首相官邸Youtubeより（<http://youtu.be/wVScDMW9cCL?si=WmHf4Ae6yWbXk0H8>）



ウ、ジェンダー・ギャップ指数2025年（世界経済フォーラム）

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2025年

- ・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。
- ・日本は148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



順位	国名	値
1	アイスランド	0.926
2	フィンランド	0.879
3	ノルウェー	0.863
4	英国	0.838
5	ニュージーランド	0.827
9	ドイツ	0.803
32	カナダ	0.767
35	フランス	0.765
42	米国	0.756
85	イタリア	0.704
101	韓国	0.687
103	中国	0.686
116	セネガル	0.670
117	アンゴラ	0.668
118	日本	0.666
119	ブータン	0.663
120	ブルキナファソ	0.659

〈備考〉1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2025)」より作成
 2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載
 3. 分野別の順位: 経済(112位)、教育(66位)、健康(50位)、政治(125位)

3 令和6年度南九州市男女共同参画経過報告

1 男女共同参画電話相談

電話相談件数	6 件	女性 4 件, 男性 2 件
(内訳) DV		1 件
職場		1 件
地域・人間関係		2 件
その他		2 件

2 自分育ての出前講座・住民講座

No.	日時	種 類	内 容	場 所	人 数
1	6月12日	出前講座	違いを認め合うことの学び 講師：高崎 恵さん 対象：全校児童	松山小学校	78 名
2	9月12日	出前講座	多様な生き方を学ぶ 講師：ケスラー剛さん 対象：長寿学級受講者	知覧地区公民館	20 名
3	9月13日	出前講座	ゲーム・インターネットと上手に付き合うために 講師：外村 完治さん 対象：保護者	額娃小学校	30 名
4	10月25日	出前講座	ハラスメントについて 講師：本多 淳太郎さん 対象：市内全地区公民館長	額娃文化会館	20 名
5	12月6日	出前講座	命の大切さと生きる力 講師：川口 塔子さん 対象：全校児童	宮脇小学校	102 名
6	12月9日	出前講座	「らしさ」って必要なの？ 講師：山崎 眞子さん 対象：全校児童	額娃小学校	88 名
7	1月21日	出前講座	働き方改革（ワークライフバランス） 講師：吉永 亜矢さん 対象：管理職の職員	南薩土地改良区	6 名
8	2月18日	出前講座	人権学習「誇りをもって生きる」 講師：宮内 礼治さん 対象：6年生児童	川辺小学校	77 名
9	3月7日	出前講座	性について考えよう 講師：岩元 妙子さん 対象：5年生, 6年生児童	霜出小学校	37 名
10	3月10日	出前講座	自分らしく生きる 講師：川口 塔子さん 対象：川辺地区生活研究グループ	ひまわり館	15 名
11	11月17日	住民講座	男女共同参画住民講座映画上映会 「最高の人生の見つけ方」	知覧文化会館	300 名
計					773 名

3 会議等

No.	日時	種 類	内 容	場所等	備考 (対象・人数等)
1	5月22日	庁内会議	DV被害者支援庁内連絡会議	川辺庁舎	委員11名 事務局1名
2	6月27日	会議	男女共同参画第1回審議会	知覧庁舎	委員8名 事務局3名
3	6月27日	研修	男女共同参画審議会委員研修会 男女共同参画庁内推進員研修会 講師：たもつ ゆかり氏	知覧庁舎	審議会委員8名 推進員16名 R5, R6新採職員10名
4	9月27日	庁内会議	南九州市男女共同参画推進会議	知覧庁舎	委員14名 事務局2名
5	10月24日	会議	南九州市男女共同参画第2回審議会	知覧庁舎	委員8名 事務局3名
6	12月19日	会議	南九州市DV対策連絡会議	知覧庁舎	委員16名 事務局3名

4 外部会議・研修等

No.	日時	種 類	内 容	場所等	備考 (対象・人数等)
1	4月25日	研修	DV担当課長等研修会	オンライン受講	職員5名
2	6月1日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座 第1回	カクイックス交流センター	市民1名
3	6月7日	研修	相談業務研修会	カクイックス交流センター	職員3名
4	6月15日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座 第2回	カクイックス交流センター	市民1名
5	6月22日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座 第3回	カクイックス交流センター	市民1名
6	7月6日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座 第4回	カクイックス交流センター	市民1名
7	7月19日	研修	女性支援業務に係る相談員及び担当係長等研修会	カクイックス交流センター	職員1名
8	9月3日	会議	DV・ストーカー等相談業務に係る関係機関連絡会議	南九州警察署	職員1名
9	9月7日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座地域版 第1回	南さつま市民会館	市民2名 職員3名
10	9月14日	研修	鹿児島県男女共同参画基礎講座地域版 第2回	南さつま市民会館	市民2名 職員3名
11	11月21日	研修	女性に対する暴力をなくすセミナー	カクイックス交流センター	職員1名
12	1月30日	説明会	DV相談員専門講座	カクイックス交流センター	職員6名
13	3月1日	研修	県男女共同参画地域推進員連絡会議	カクイックス交流センター	地域推進員1名 職員1名

5 その他啓発活動等

市民向け（広報紙，市ホームページ等），職員向け（グループウェア等）に啓発活動を実施

- ・男女共同参画週間事業（6月23日～29日）
- ・鹿児島県男女共同参画週間事業（7月25日～31日）
- ・女性に対する暴力をなくす運動週間（11月12日～25日）
- ・その他県及び他市町村実施の住民向け男女共同参画関連研修，講座等の周知

【参考１】第２次南九州市男女共同参画基本計画 基本体系
(期間：令和２年～令和１２年)

基本目標

一人ひとりの人権が尊重され、『多様な生き方が選択でき、個性や能力が発揮できる社会づくり』と『誰もが安心して暮らすことができる社会づくり』

第２次南九州市男女共同参画基本計画（P.12）から抜粋

重点的に取り組むこと

男女共同参画に関する意識の
涵養※を図る教育・学習の推進

※涵養：自然にしみこむように養成すること。
無理のないようだんだんに養い作ること。

すべての人が安心して暮らせる男女共同参画の視点を踏まえた環境の整備

すべての人の生涯を通じた健康支援

男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の根絶

すべての人が能力を発揮できる就業環境の整備

政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

男女共同参画による地域コミュニティづくりの推進

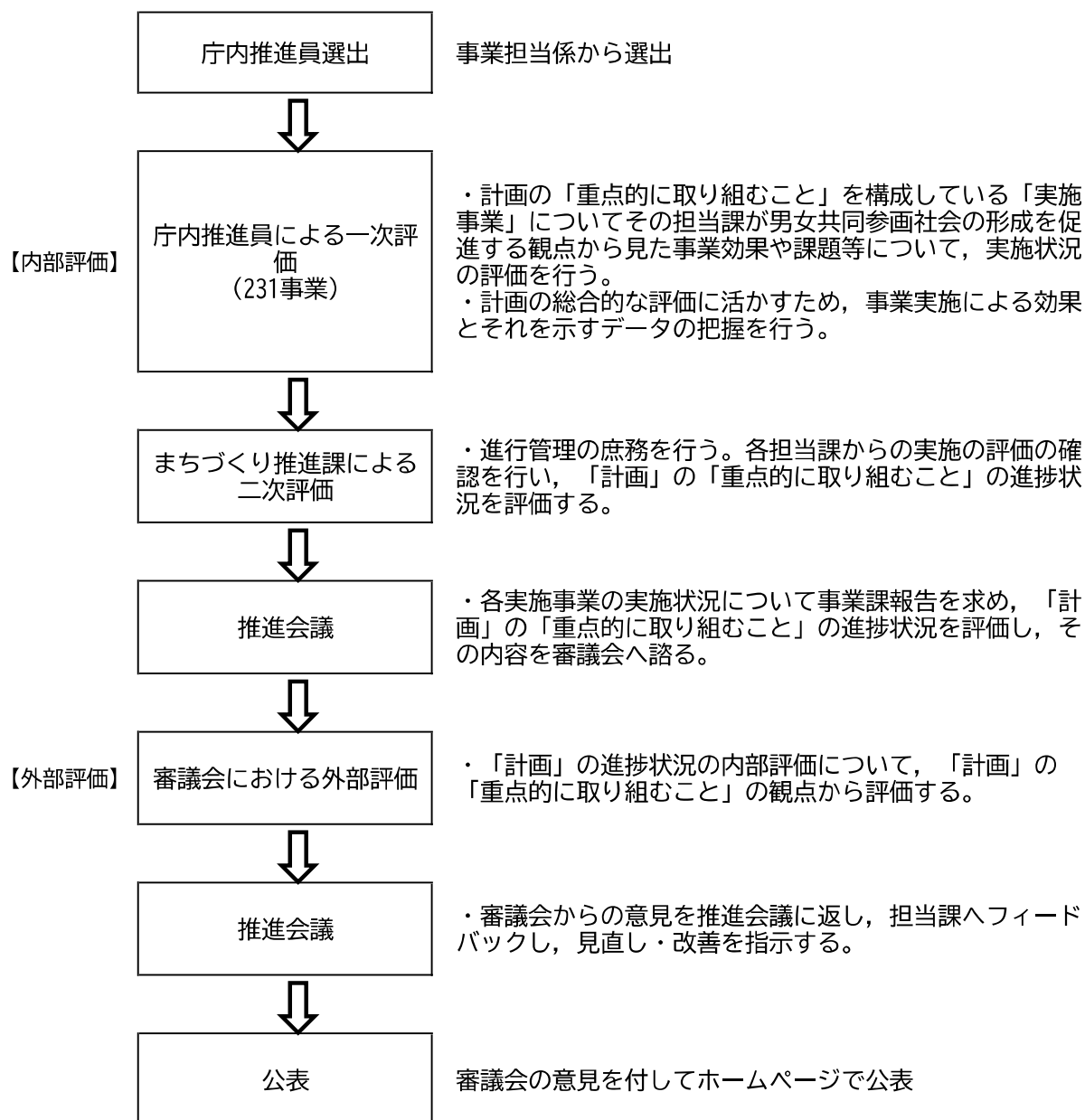
みんなで共同
みんなで作る
みんなで活躍
男女共同参画社会

【参考2】評価概要

【目的】

この評価は、南九州市男女共同参画推進条例（平成19年12月制定）第11条に基づき、南九州市男女共同参画基本計画の施策の実施状況を明らかにするため、実施するものである。

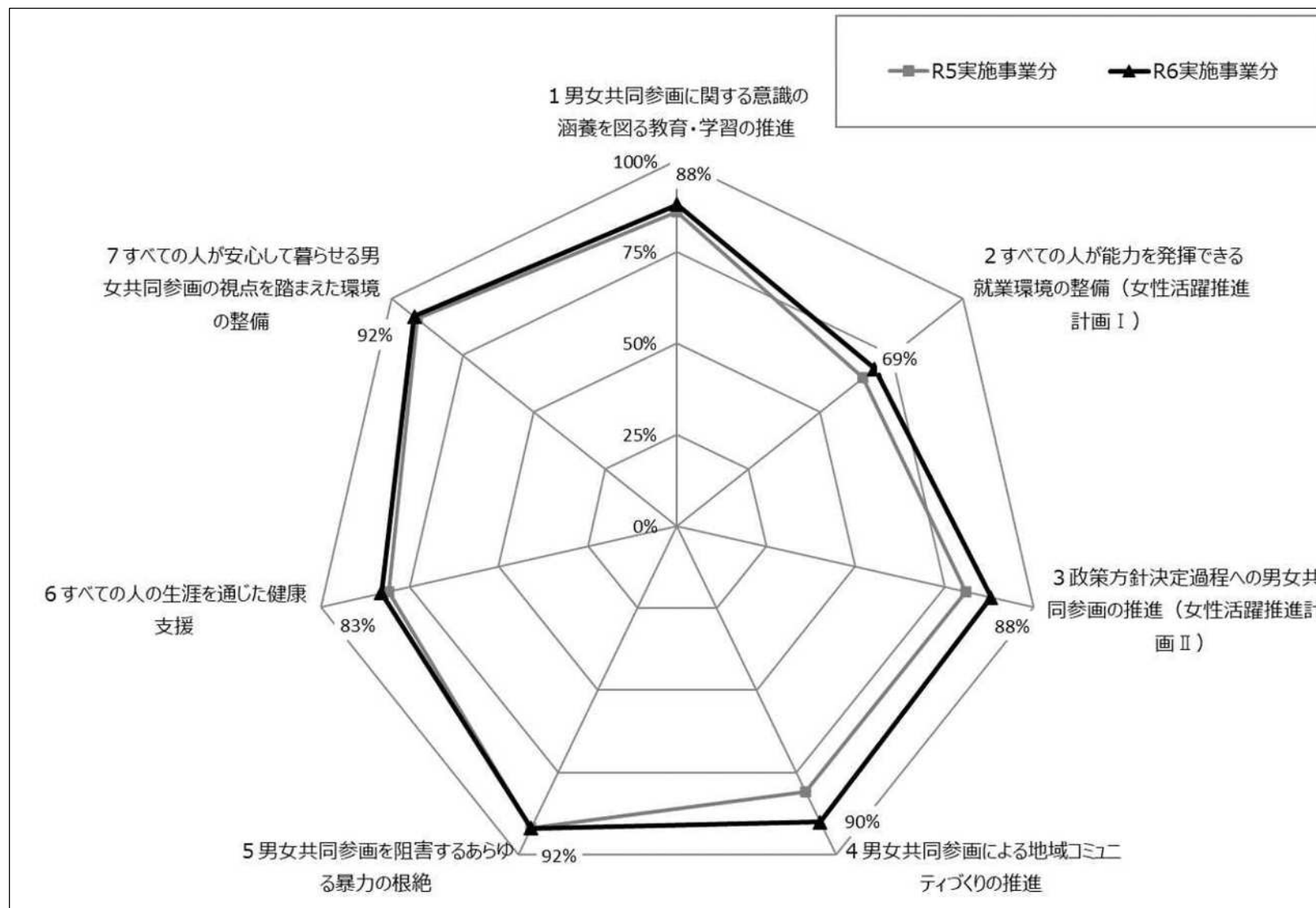
【評価の流れ】



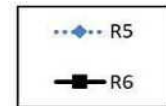
4 協議

(1) 令和6年度分南九州市男女共同参画基本計画二次評価について

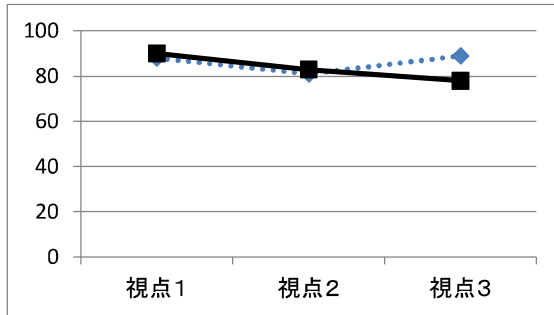
- ・ 令和5年度，令和6年度の評価点数比較（重点取り組みごと）



令和5年度，令和6年度の評価点数比較（各視点ごと）

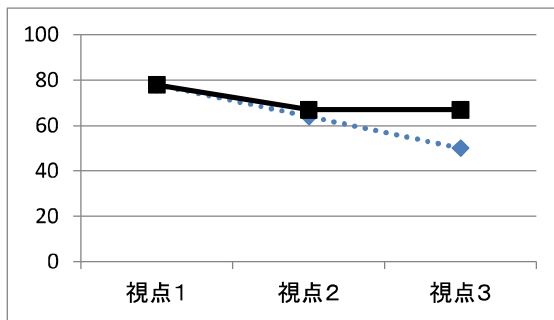


重点的に取り組むこと1:男女共同参画に関する意識の涵養を図る教育・学習の推進



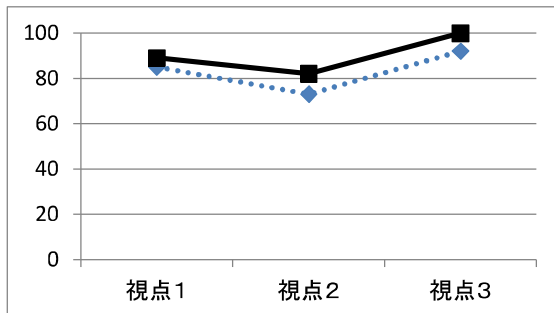
視点1	固定的性別役割分担意識の解消及び慣行の見直し
視点2	学校等における男女共同参画に関する教育の充実
視点3	性の多様性についての理解促進

重点的に取り組むこと2:すべての人が能力を発揮できる就業環境の整備（女性活躍推進計画Ⅰ）



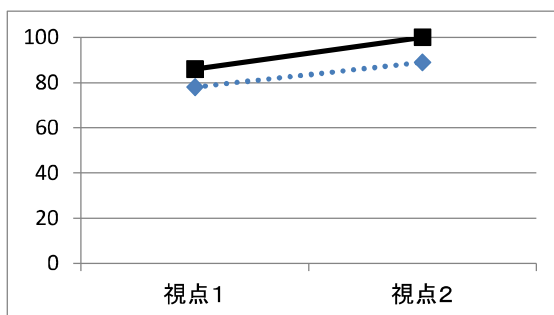
視点1	女性が能力を発揮できる就業環境の整備促進
視点2	ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組みの充実
視点3	女性の能力開発・チャレンジに向けた取り組みへの支援

重点的に取り組むこと3:政策方針決定過程への男女共同参画の推進（女性活躍推進計画Ⅱ）

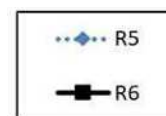


視点1	政策・方針決定過程への女性の参画拡大
視点2	農林水産業・商工業の分野における女性の参画拡大に向けた環境づくり
視点3	女性リーダー等の人材育成にかかわる支援

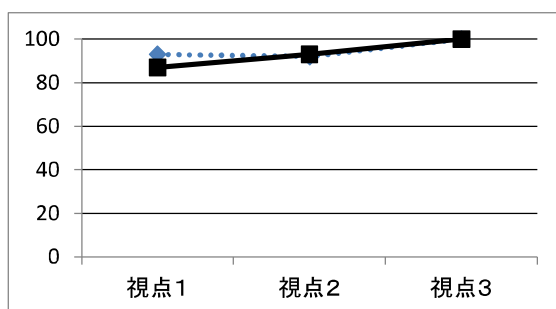
重点的に取り組むこと4:男女共同参画による地域コミュニティづくりの推進



視点1	地域活動での男女共同参画の意識啓発
視点2	男女共同参画の視点を取り入れた防災活動の促進

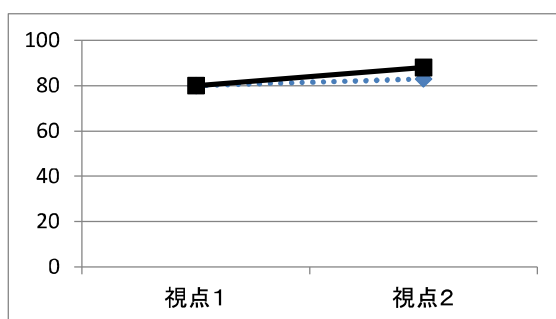


重点的に取り組むこと5:男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の根絶



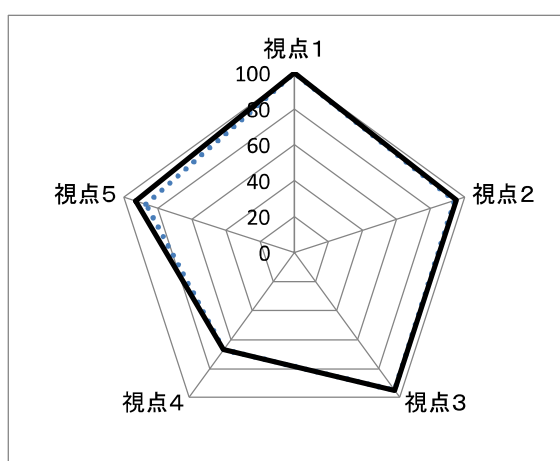
視点 1	暴力を許さない社会の意識づくり
視点 2	配偶者等からの暴力の防止と被害者を支援する基盤づくりの推進
視点 3	性犯罪・ストーカー行為・ハラスメント等への対策及び被害者支援

重点的に取り組むこと6:すべての人の生涯を通じた健康支援



視点 1	生涯を通じた男女の健康の包括的な支援
視点 2	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の普及啓発

重点的に取り組むこと7:すべての人が安心して暮らせる男女共同参画の視点を踏まえた環境の整備



視点 1	ひとり親家庭等の親子が安心して生活できる環境づくり
視点 2	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境づくり
視点 3	貧困等の生活上の困難に直面する若者等の自立に向けた支援
視点 4	多文化共生社会の視点に立った男女共同参画の推進（南九州市多文化共生推進プラン）
視点 5	多様なライフスタイルに対応した子育てや介護支援の充実

★指標の設定

基本目標	重点目標	項目	担当係	目標値 (R6)	実績 (R6)	目標値 (R7)	参考(R5及び 前回調査)
一人ひとりの 個性や能力が尊重され、 『多様な生き方』と『誰かが 安心して暮らすことができる 社会づくり』	1男女共同参画に関する意識の涵養を図る教育・学習の推進	講演・研修等の開催(回)	共生協働推進係	11	11	11	10
		住民講座(回)		1	1	2	2
		出前講座(回)		10	10	10	8
		基礎講座受講者(人)		3	6	4	4
	2すべての人が能力を発揮できる就業環境の整備(女性活躍推進計画Ⅰ)	※1 男女の地位の平等感(家庭生活)	共生協働推進係	-	71.9	75	73.2(H30)
		※1 男女の地位の平等感(地域社会)		-	63.6	65	63.4(H30)
		※1 男女の地位の平等感(働く場)		-	66.6	70	57.1(H30)
	3政策方針決定過程への男女共同参画の推進(女性活躍推進計画Ⅱ)	県男女共同参画地域推進員(人)	共生協働推進係	4	4	5	3
		自治会長における女性自治会長が占める割合(%)		3	2.2	3	1.6
		※2 審議会などの女性登用率(%)		30.0	25.3	30.0	23.6
		認定農業者数(人)	農政係	736	718	740	716
		家族経営協定締結数(世帯)		263	244	247	238
		女性農業経営士の認定者数(人)		34	34	36	33
		市職員に占める女性管理職の割合(係長以上)(%)	総務人事係	20.0	13.7	20.0	11.0
		市議会議員に占める女性議員の割合(%)	議会事務局	-	16.7	-	16.7
		農業委員会における女性の委員の割合(%)	農業委員会事務局	-	21.0	-	21.0
		小中学校における女性PTA会長の数(人)	社会教育係	3	2	3	2
		小中学校における女性PTA会長・副会長の割合(%)		40.0	39.2	40.0	37.0
	4男女共同参画による地域コミュニティづくりの推進	※1 男性は仕事、女性は家を守るという考えに賛成(%)	共生協働推進係	-	24.4	20	36.9(H30)
		※3 みしん(出不足金)の差のある集落(%)		-	4	0	22(H29)
	5男女共同参画を阻害するあらゆる暴力の根絶	DVIに関する講演・研修等の開催	共生協働推進係	1	0	1	0
	6すべての人の生涯を通じた健康支援	胃がん検診受診率(%)	健康推進係	20.0	7.1	20.0	7.5
		※2 肺がん検診受診率(%)		20.0	12.7	20.0	12.4
		大腸がん検診受診率(%)		20.0	15.9	20.0	16.0
		子宮がん検診受診率(%)		20.0	15.3	20.0	15.1
		乳がん検診受診率(%)		20.0	23.9	20.0	24.0
		※4 妊娠11週以内での妊娠の届出率(%)	おやこ保健係	100.0	89.2	100.0	92.8
	7すべての人が安心して暮らせる男女共同参画の視点を踏まえた環境の整備	地域子育て支援センター事業(箇所)	子育て支援係	3	3	3	3
		一時保育の充実(箇所)		19	17	17	18
		放課後児童クラブの充実(箇所)		20	20	20	21
		延長保育を実施する保育所数(箇所)		19	19	19	19
		ファミリーサポートセンターの設置数(箇所)		1	1	1	1
		シルバー人材センターの登録者数(人)	高齢者福祉係	365	370	375	359
		※1 ワーク・ライフ・バランスの満足度(%)	共生協働推進係	-	52.9	60.0	53.2(H30)
		※5 男性(市職員)の育児休業取得率(%)	総務人事係	80.0	66.7	85.0	77.8

※1 令和6年度実施「男女共同参画社会についての市民意識調査」(615名回答)

※2 第2次南九州市総合計画後期基本計画

※3 令和6年度実施「自治会に関する調査」(219自治会回答)

※4 健やか親子21(国の指標)

※5 南九州市特定事業主行動計画